

5月17日 朝礼でのお話し

アイコンタクトで自分の身を守ろう

5月も気が付けばもう半ばです。時間のたつのは早いですね。うっかりしているとすぐ夏休みになってしまいます。一日一日を大切に過ごしていきましょう。さて、今日は交通安全のお話しをします。

東京都内では毎年のように小学生が交通事故で亡くなっています。その中には登校の途中で大型トラックに巻き込まれて命を落とした子もいます。交通事故は本当に突然に起こってしまいます。今朝のあなたのように「行ってきます」と家を出た子供が事故にあってしまったら、もうお家に帰ることができなくなってしまいます。お家の人たちもどんなに悲しむことでしょう。皆さんは絶対に交通事故にあってははいけません。

事故にあわないようするために、何よりも大事なのは自分で自分を守ることです。誰かが守ってくれるから大丈夫だなんて思うのはダメです。道路を歩いていたり、自転車に乗っている時にはとにかく自分がまわりの様子をしっかりと確かめてください。道路でお友達とふざけながら歩いていると、まわりの様子なんか分かりませんよ。

さて、そういう時にとても大事なことを一つお話ししますから、今日はしっかりと覚えてください。それは車や自転車が通る道渡る時のことです。

信号が青だから渡っても大丈夫だと思うのは危険です。もしかしたら、自動車の運転手さんは信号をちゃんと見ていなくて、止まってくれないかもしれません。だから皆さんは道路を渡るとき、自動車をしっかりと見て下さい。運転手さんの顔を見て下さい。運転手さんを見ることで、「ぼくはここにいますよ、これから道路をわたりますよ」と言うことを伝えることができます。これをアイ・コンタクトと言うそうです。アイは目、コンタクトはつながる、という意味です。つまり目で運転手さんとしっかりとつながろうということです。そして、運転手さんがあなたをみていなかったら、あなたが止まって車が通り過ぎるのを待って下さい。「ぼくは信号が青だから渡ったんだよ。」と言っても車にひかれてしまってからではどうしようもありませんね。

けやき小の周りには大きな道路だけでなく、狭い道でも車が多く通る道もたくさんありますね。そういう道には信号が無いところもたくさんあります。道路を渡る時は自分で安全を確かめなくてははいけません。近くに自動車が来たとき、自動車が来る道を横切る時には皆さん一人一人がしっかりとアイコンタクトをして安全を確認し、自分の身を守って下さい。

最後にもう一度いいますね。交通事故は絶対にダメです。事故にあわないよう自分を守るのは自分しかいません。あなたがしっかりと自分を守ってください。

今日も最後まで一生懸命に聴いてくれてありがとう。今日のお話を終わります。